

社友会だより

第 28 号

発行 センツウ社友会
住所 神奈川県川崎市麻生区上麻生 2-35-16
〒215-0021 平野昌明 内
編集者 大場省平

* 新年のご挨拶 *

社友会会長 法安忠美
新年明けましておめでとうございます。
皆様方におかれましては、よいお年をお迎えになられたこととお慶び申し上げます。



昨年、我が国周辺において、いろいろな事件が出来ましたが、国内においては、何とか平穏裡に推移しました。

それにしても、マスコミが総力を挙げて造った現政権の不甲斐無さには、失望の極みであります。

それに比べて、わが社友会は一段と明るさを増してきております。役員の方々がそれぞれ担当の事業に積極的に取り組んでおられ、総会や会報で報告してきておりますように、大きな成果を挙げてきております。全国各地での「同窓の集い」の定着化や「支部設置」による組織再編に伴う連携の緊密化等、多年懸案の社友会全国区画化がほぼ達成されたと考えてよいのではないのでしょうか。これもひとえに、会員の皆様の一体感からのご協力と、これに呼応した前述の役員の方々の皆様の努力の賜と感謝しております。厚くお礼申し上げます。

他面、会社解散に伴い、各関連会社に移られた皆様のご苦勞、ご心情を仄聞するたびに、私どもの非力、無力を痛感せざるを得ません。本当に申し訳なく存じております。会員の皆様におかれましては、このような事情をご斟酌頂き、機会あるごとに励ましの言葉をおかけくださいますようお願い申し上げます。

本年は、改善著しい前記案件の更なる進捗をはかり、皆様に、本当に“入ってよかった”とよろこばれる、楽しい社友会とすべく努力して参りますので、ご支援のほどよろしくようお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶と致します。

「第二回センツウ同窓の集い」 全国各地域で開催

昨年に続き「センツウ同窓の集い」が今年も各地で開催、現役の若手の方たちの参加が多くなりました。センツウ創立記念日を多、発行 平成 23 年 1 月

趣旨が徐々に定着してきたように思われます。
各地域の「同窓の集い」の状況の特集しました。

中央地区

平成 22 年 11 月 27 日（土曜日）12 時から東京都港区浜松町（元首都圏支店隣）のシーサイドホテルに於いて第 2 回「センツウ同窓の集い」が開催された。同会には、OB・現役 68 名が出席、開催前にホテルの表面玄関にて集合写真の撮影（プロ級のカメラマン林稔氏のご協力により）を行った。



撮影後、直ちに祝宴会場に移動したが、会場には既に大型スクリーンとテレビが用意され、「中島みゆき・地上の星」の曲が流れ、

スクリーンには、センツウの昔の映像が映し出され、ウエルカムドリンクを片手にしばし立ち止まるシーインが、印象的であった。

鏡給次郎さんの



司会で、開会の宣言があり、また、各地域の開催予定等が報告された。

開演に先立ち、乾杯の音頭を宮崎さんにご指名。宮崎さんからは、皆様のお元気な姿を拝



見し嬉しく思っている。また、乾杯の人選に当たり、センツウの子飼いで、後期高齢者・最高齢の方が欠席のため、私に白羽の矢が立った。禁酒・禁煙で健康に気を付けて、この会を発展させましようとの挨拶の後、乾杯を行った。



懇親会がスタート、グラスを片手に、各テーブルを回る人、久しぶりに会った友と乾杯を繰り返す人等で、声も徐々に大きくなり、大変な盛り上がりとなった。

歓談半ばにて司会者から、本日の会に尽力頂いた社友会法安会長に一言ご挨拶をとの紹介があり、会長が壇上に立ち、“皆さん、今日はお元気な姿を拝見し大変嬉しく思っています。会社が解散し、毎年行っていた創立記念日に代わるもの

を行いたいとの声が全国から起りまして、色々相談の結果社友会だけでなく、ドコモ各社に行かれ苦労されている皆さんも含めた

会にしよう名称も「センツウ同窓の集い」と致しました。現役の方には色々重圧もあり大変でしょうが、是非この会に出席頂き、センツウを語り継いでいってほしい“との挨拶があった。

続いて、参加者の近況報告に移り、今井さんからは、センツウを辞めた

のが平成8年、79才となった。来年2月で80才となりますが、この会にあと10回、90才位まで出たい。現在、栗の栽培を行っていて、栽培量は町でも1~2を争っています。しかし価格が安く肥料代も出ないので辞めたいと思っているが、会は辞めないで下さいね、90才でも100才になっても出ますよ。との力強い意思表示があった。

続いて、故郷を北海道から東北に移し、現在東京赤坂に単身赴任中の佐藤健二さんから、センツウは良い会社だったとの思い出を語って頂きました。

また、長野から高速バスで初めて参加された柴田和男さん

からは、職場でセンツウ出身ですと胸を張って言っている。また、この会に毎年出席し、センツウを盛り上げていきたいと宣言があり、盛大な拍手に包まれた。

中締めは、一番若く紅一点の千羽陽子さんが指名され千羽さんから、御酒を飲んでいても長生きが出来るんだ、

また、皆さんの元気をもらって、私も会社で頑張ります。皆様が、10年・20年と健康で居られることを祈念し乾杯したいと挨拶、乾杯でめでたくお開きとなった。

[レポーター長谷川英夫さん]



東北地区

平成22年12月1日 18:00から仙台市青葉区JALシティーホテル内「和旬楽」にて、「センツウ同窓の集い」を開催した。

当日は、現役6名、嘱託者4名、退職者3名の13名が参加された。

開宴に先立ち、東北OB会の会長伊藤堅司さん(1年交代?)が「今年もまた東北在住の方全員が一堂に会することができ、大変嬉しく思っています。この会が長く続き、皆さんと会えることを楽しみにしている。来年は一泊も検討しましょう」と挨拶された。

引き続き、伊藤さんの乾杯の音頭で、祝宴が開始された。

宴の半ばで、センツウ時代の歴代10大ニュースを勝手にランキングし発表、現役時代のニュースも織り交ぜ大いに盛り上がった。

二次会は、カラオケボックスに入り、演歌からポップスまで大いに盛り上がる。出席者の年代から言って演歌が多く、退職者の勝ちか?となった。

その他、色々ありましたが、酔いつぶれ良く覚えていませんでした。



[レポーター瀬林義昭さん]

中部支部

平成22年11月27日(土)12:20から名古屋市中村区の沢湯食堂に於いて、第2回「センツウ同窓の集い」を開催した。

中部支部発足後、初の開催となり、現役を含め14名の参加となった。



当日の朝は、肌寒く感じられましたが日中は暖かく、会場は早くも初夏のような熱気に包まれた。

開会に当たり支部長から、中部支部発足の経緯等の説明と挨拶があり、続いて佐藤さんの乾杯の音頭で宴が始まった。

終始和やかに近況・昔話と話がはずみ、アルコールが回るにつれて大いに盛り上がり、和やかな会となりました。

終わりに、今回不参加の方メッセージの披露があり、次回再会を願って散会となりました。また、一部の人は、熱田神宮参拝に参加しました。



[レポーター 本田太作さん]

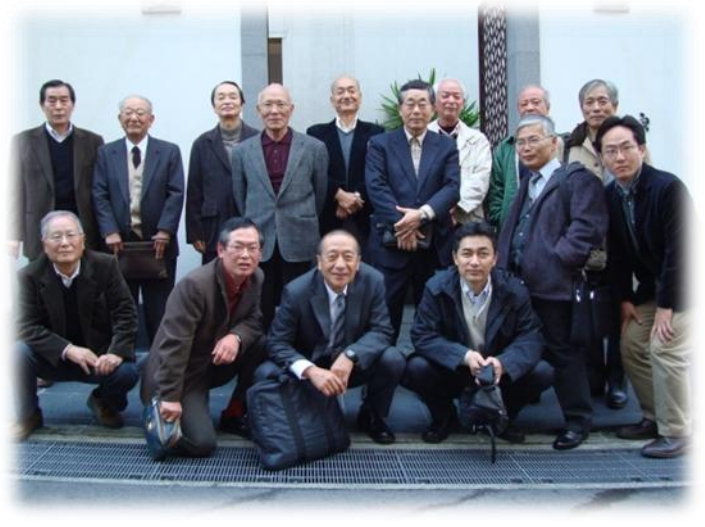


前回都合がつかなかった「高雄様」のご出席があり、年齢のことや昔の神戸支店時代に遡って話し、年金生活の中で、絵画教室へ通われている話で、大作となると2から3

カ月もかかるとか、デイサービスセンターの送迎車の運転をされながら、民謡と三味線のボランティア活動をしている話や、病院通いで、思いのほか結構忙しいとか、昨年結婚された一番若手の「足立さん」の近況報告とかで、ワイワイ・ガヤガヤとなかなか美味しい中華のコース料理と酒を楽しみました。

2時間もあっという間に、中締めの日となり、松浦さんのご発声により来年も開催しもっと多くの方々の参加を呼び掛けて、一次会はお開きとなりました。

外へ出ても、まだまだ日は高かったようですが、二次会のコールが有り都合のよい方のグループは、いつものお店へ繰り出しました。



[レポーター 上中 健さん]

阪神支部

11月27日(土)13:00から、神戸市中央区の中華料理店「老房」LAO FANGにて開催された。

昨年の会で、毎年開催をとの声があり、全国の開催に合わせて、昨年のリストに新たな退職者と参加されていない方への声かけをお願いし50名への案内のハガキを出しましたが、体調不良の方や、当日都合が付かない方や、どうしても仕事が入り欠席の方があり、最終的には16名の会となりました。

今回、村上支部長は、体調不良のため欠席されたので、関西地区に赴任され、関西衛星サービスセンターの田村所長から自己紹介を兼ねて、挨拶と乾杯の音頭をお願いして始まりました。

九州支部

恒例の中四国九州地域「第3回センツウ同窓の集い」が12月3日(金)に、MARYY GOLD(旧センツウビル)にて開催された。



当日は、朝から強風、波浪注意報が発令されるあいにくの天気となり、東京や、徳島、岡山、広島から駆

けつけて頂く皆さんが定刻に間に合うだろうかと気をもんでいましたが、本日に備え早めに出発されたため、余裕の到着となりました。各諸氏の日頃からの気配りは流石と感激しました。皆様の多くは定刻前には殆んど揃い、久しぶりの談笑に早くも活気あふれる会場になっていました。

今年は原田さん、山口さんの特段の配慮で、中国地域の多くの同窓生（80 数名居るらしい）に声をかけて頂き「そんな活動を始めて知った」「今年は行けないが今後は考える」等、大きな反響がありました。

その結果、中四国地域の方6名、大川さん、菊山さん、原田さん、山口さん、高橋さん、河原さんの方々に出席を頂く事が出来ました。また、関東からも今井さん、松本さんの出席

を頂き、九州各地から出席頂いた方と合わせて27名で開催することが出来ました。



宴席では、フランス料理のフルコースに舌鼓をうちながら、好みのビール、ワイン、酒等を飲み放題のコースを有効活用してリッチな気分になりながら、全員で近況を報告して頂きました。また、本日が目出度く誕生日の人（横溝さん、白石さん、）と、還暦を迎えた（徳王さん、高橋（豊）さん、）二人一緒にお祝いを致しました。

最後は、本日のメインと位置付け、松本さん持参のセンツウ歴史秘蔵写真をDVDで鑑賞しました。

会場には、立派なDVD機器と大画面が左右2面あり、さすが結婚式場だなと感心しました。その画面に次々と映し出される懐かしい写真、「銀の龍に乗って」のバックミュージックで十分に感傷的な雰囲気の中、映像が乱れ音楽のみになったり、不調で何度も止まり、再生をしましたが、遂に回復することなくDVD不調により中止しました。誠に残念！この頃には、丁度お開きの時間が迫っており、この顛末は来年となってお開きとなりました。



[レポーター松崎繁行さん]

＊ センツウ社友会中部支部発足 打ち合わせ会を開催 ＊

社友会総会及び役員会にて、各地域に支部を設置することが決定したことを受けて、平成22年10月9日(土)、有志の皆さんが参集し中部支部発足の打ち合わせを行った。結果は次のとおりです。

- (1) 支部長は、事務局長及び北陸地域の世話役を選任した。
- (2) 運営方法、堅苦しい(細かい)ことは抜きにして、ザックバランに楽しく運営していく。
- (3) 当面の活動
 - ①「センツウ同窓の集い」の開催
 - ②毎年5月下旬から6月上旬にかけて計画、実施する。

事務局よりお知らせ

米寿をお祝い申し上げます。



野村康雄さん
湯沢重夫さん
細川一枝さん

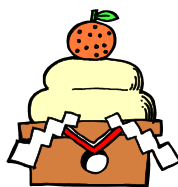
平成23年1月8日、社友会より米寿のお祝い金を贈呈いたしました。益々のご健康・ご活躍をお祈り致します。

＊ 社友会ホームページ稼働中 ＊

皆様からのデジタル写真が掲載されています。早くて、便利なホームページにアクセスしてみてください。楽しいですよ。写真も送ってください。

ホームページのURLは、

[<http://homepage3.nifty.com/sentuf/>]
パスワードは、Sentu1002 (Sは大文字です。)



謹賀新年

本年も社友会をよろしくお祈り致します。
社友会役員一同

《編集者からお願い》

皆様方の近況を募集しています。趣味・ボランティア活動・田舎暮らし等、何でも結構です。会員の皆様の参考となればと思っています。

次回の発行は4月を予定します。ご寄稿をお待ちします。